

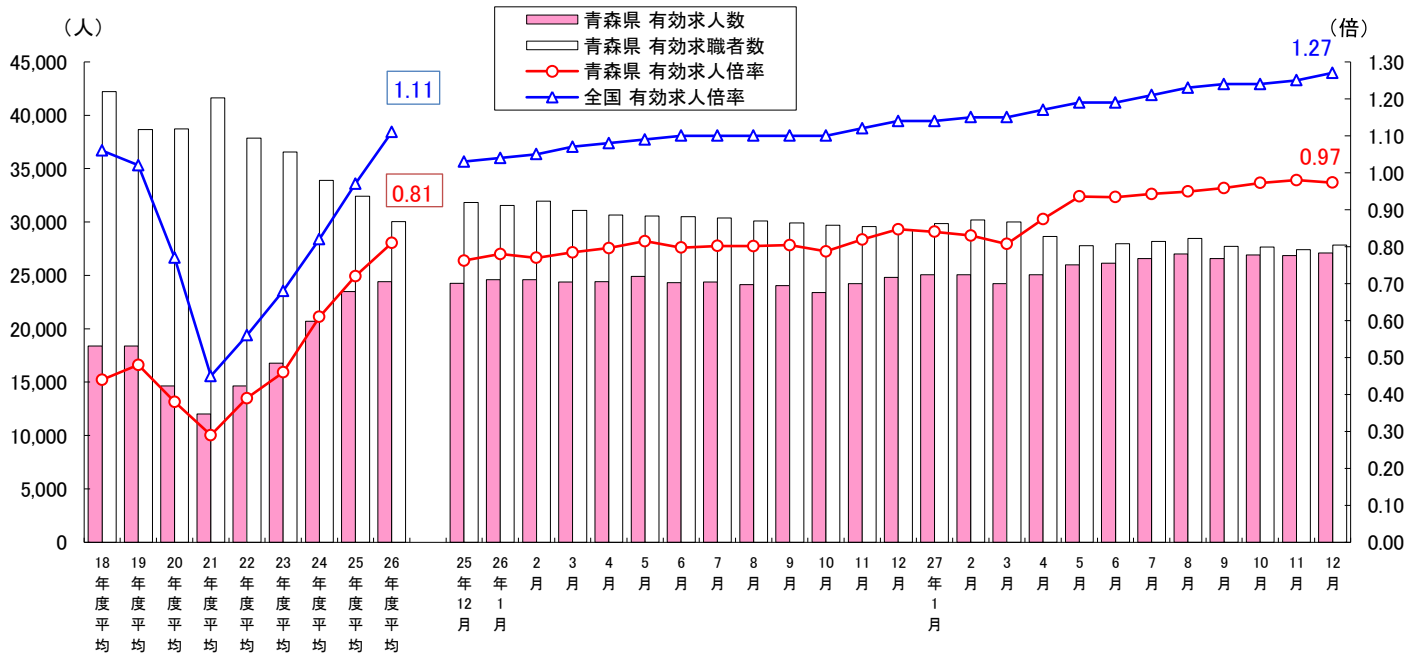
# 最近の雇用情勢について

(平成27年12月)

青森労働局

## I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

12月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.0%増加の27,113人、有効求職者数(同)は1.7%増加の27,856人で、有効求人倍率(同)は前月より0.01ポイント減少の0.97倍となった。

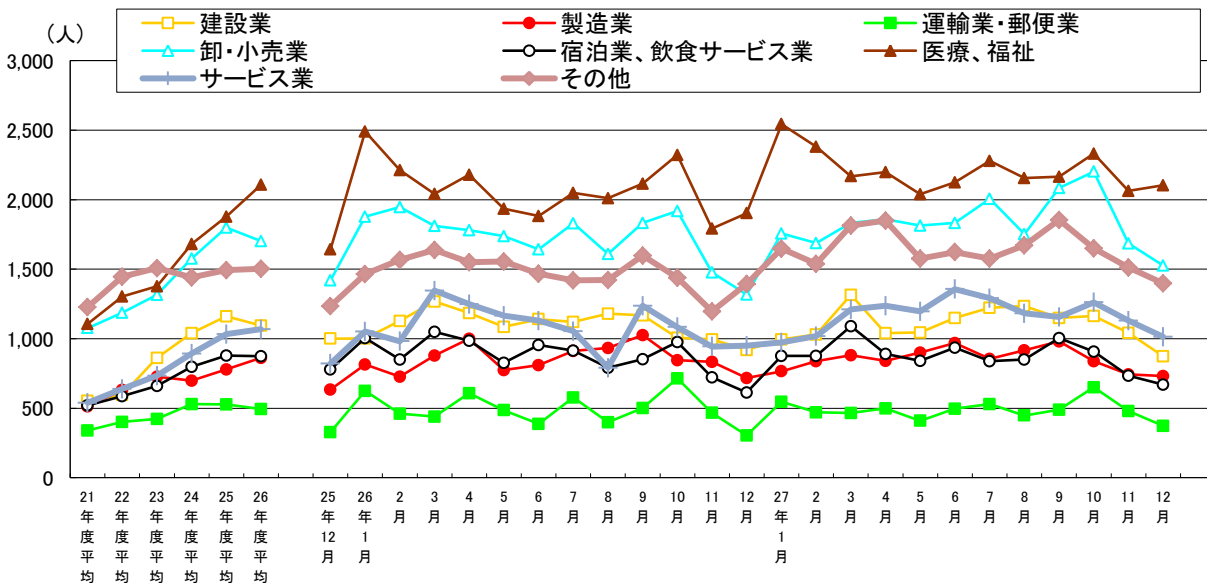


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

12月の新規求人(原数値)は前年同月比7.0%(572人)増加、前月比7.4%(698人)減少の8,692人。

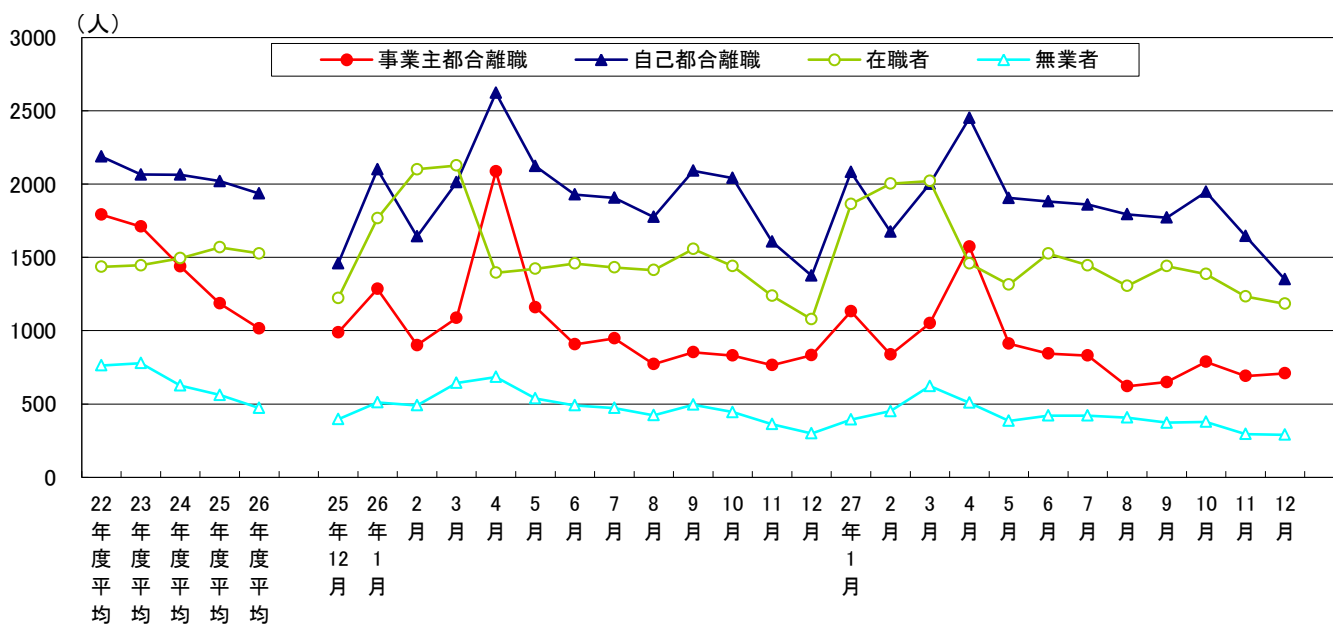
産業別に前年同月と比較すると、製造業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、建設業等では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業等で増加し、はん用・生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

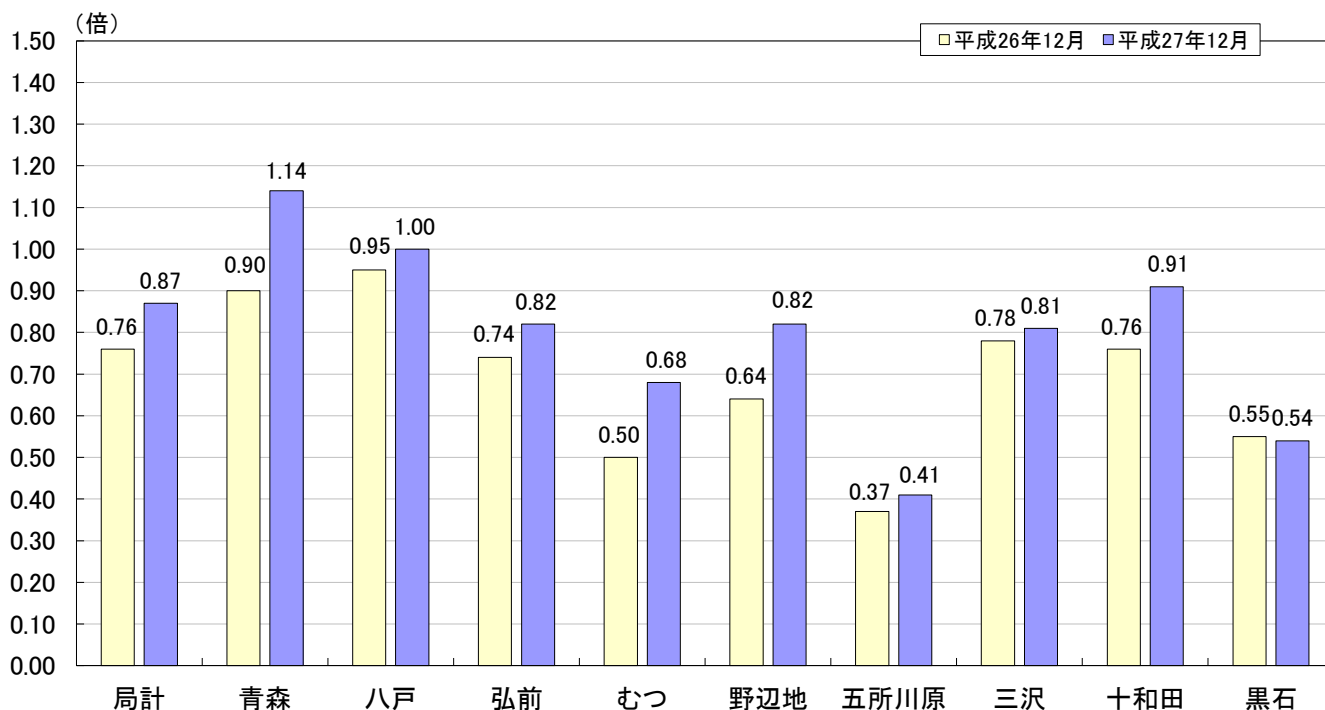
### Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

12月の新規求職者数は、前年同月比1.8% (68人)減少、前月比8.7% (347人) 減少の3,619人。  
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は9.8% (106人)増加し、離職者は7.1% (165人) の減少、無業者は、3.0% (9人) の減少となった。  
 離職理由でみると、事業主都合は14.9% (124人) の減少、自己都合は1.7% (23人) の減少となった。



### Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

12月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.87倍となり、前年同月を0.11ポイント上回った。  
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

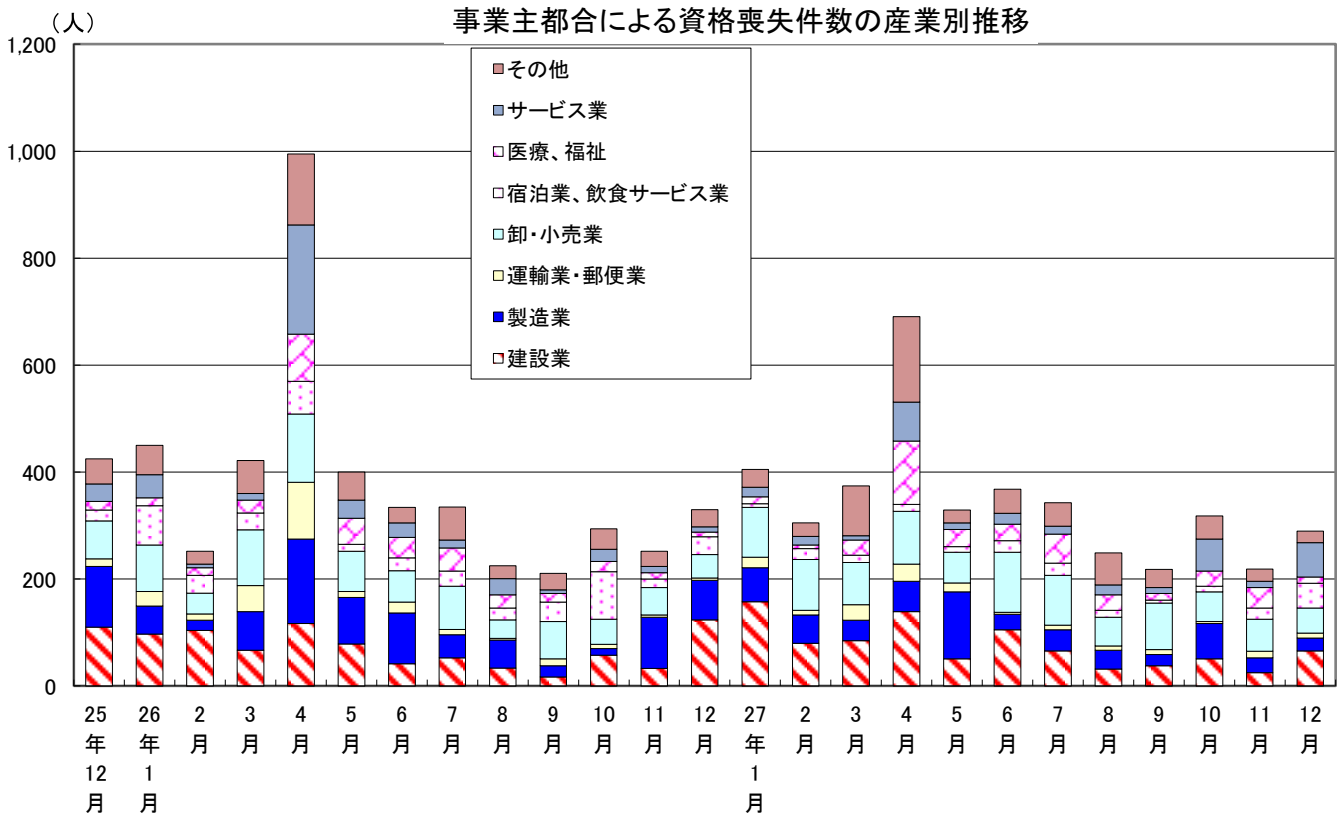
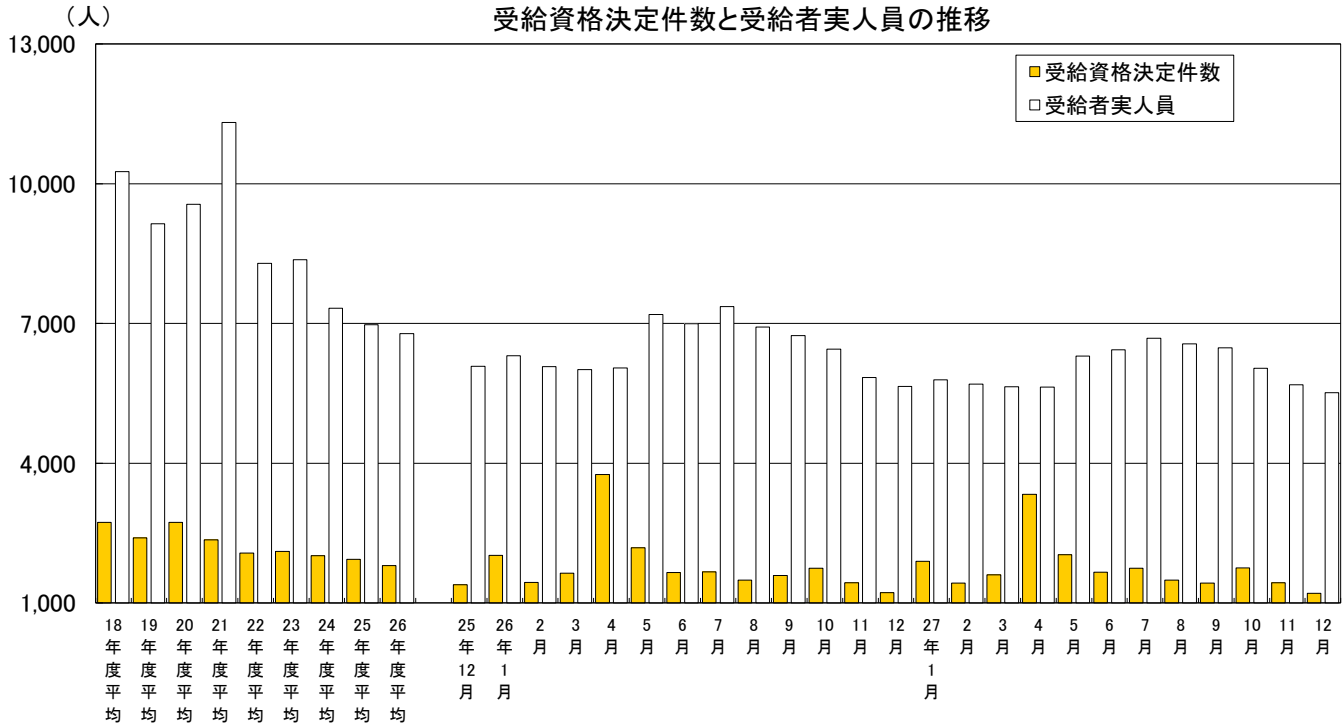


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	28,068	7,064	5,714	5,049	1,642	1,154	2,916	1,568	1,336	1,625
有効求人数	24,516	8,060	5,709	4,128	1,120	945	1,188	1,266	1,217	883

## V 雇用保険の状況

12月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比2.5%（140人）減少、前月比では3.0%（172人）減少の5,511人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比1.4%（17人）減少、前月比では15.8%（226件）減少の1,205件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比12.1%（40人）減少、前月比32.4%（71人）増加の290人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。